

1年 1学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
なかよしのき	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
たのしいいちにち	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。
わたしのなまえ	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。
かいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名を読み、書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> 書く姿勢や鉛筆の持ち方に注意して、平仮名を正しく書いている。
みつけてはなそう、たのしくきこう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に互いの話に関心をもち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。
かき、かぎ	<ul style="list-style-type: none"> ○句読点の打ち方を理解したり、濁音や半濁音を読んだり書いたりして、文の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。
ことばをあつめよう	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っている とともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

くまさんとありさんのごあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 話のまとめや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子やくまさんとありさんのしたことなど、内容の大体を捉えている。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
ねこ、ねっこ	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 文の中における主語と述語との関係に気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとめが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。
ほんをよもう	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しみ、図書館にはいろいろな本があることを理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。
ことばをつなごう	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとめがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとめが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。
あいうえおのうた／ごじゅうお	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとめや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 		<ul style="list-style-type: none"> 進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。

ん	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記の仕方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音の特徴に気付こうとしている。
けむりのきしゃ	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。内容の大体を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。
のばす おん	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記の仕方、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
せんせい、あのね	<ul style="list-style-type: none"> 文の中における主語と述語との関係に気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
みんなにはなそう	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。
よくみてかこう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで経験したことや想像したこと等から書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。
すずめのくらし	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、時間的な順序や事柄などを考えながら、内容の大体を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。
しゃ、しゅ、しよ	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に拗音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

しらせたいこと をかこう	<p>長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。 	<p>「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<p>積極的に長音、拗音、撥音などの表記、助詞の「は」、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
としかんへい こう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書に親しみ、色々な本があることを知っている。 		<p>積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
おおきなかぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	<p>「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。内容の大体を捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
えにつき	<p>長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。 	<p>「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・